

令和3年度 事業報告

2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日

特定非営利活動法人みずうみ

令和3年度の組織目標

- (1) コロナ禍においても安全かつ充実して働ける事業所づくり
- (2) 職員がよりよい支援を提供できる職場づくり

I 令和3年度の重点的取り組み

(1) コロナ禍においても安全かつ充実して働ける事業所づくり

1 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

計 画	結 果
1) 感染防止ハード面の整備(3密回避のための物理的環境整備、感染防止グッズの導入等)	<ul style="list-style-type: none">・事業所入口に自動手指消毒スタンド、非接触検温スタンドを設置した。・作業室、休憩室のテーブル配置はできるだけ対面を避け、間にはパーテーションを設置した。 来年度席の配置は感染防止、特性に配慮しつつ、孤立感を感じられないよう声掛け等支援を行う。
2) 感染防止ソフト面の徹底(マスク・手洗い・消毒・検温・体調確認・換気・清掃等の基本的習慣、県・市内感染状況に応じた入場制限等の対応)	<ul style="list-style-type: none">・健康観察カードの継続。・昼食時の休憩室の人数制限、食事の前後の手指消毒、黙食のお願い。・常時換気扇、空気清浄機を作動し、こまめに窓、ドアを開けての換気を行った。・ワクチンの接種状況の確認。 来年度日々の感染防止対策を継続するとともに、6年度から義務化される感染症の発生及びまん延の防止等に対する取組、業務継続計画の策定等の検討を行う。

3) 感染に関する情報の収集、共有、提供	日々情報収集に努め、得られた情報は職員と共有を図り、必要時利用者様に提供している。 来年度継続する。
----------------------	---

2 コロナ禍でも工賃を確保する

計 画	遂 行 状 況																																
1) 感染拡大や Go To トラベル停止等による影響を想定し、見通しを持って作業確保する	5月、コロナの関係で物流がストップし河内の箱折りが一時途切れたが、他の作業は滞りなく続き、安定的に作業確保できた。特に魚の屋はダイソー等での販売が好調とのことで、安定的に作業を請け負えた。 来年度引き続き複数の企業からの作業を受け、安定的に作業確保できるよう努める。																																
2) 高工賃が得られる作業への優先的取り組みにより、工賃の低下を防ぐ	魚の屋をはじめ高工賃が得られる作業ができる方にはできるだけそちらを優先的にしてもらった。その結果、工賃総額、工賃平均月額ともに向上した。 来年度継続する。																																
3) 利用者様の自主性の向上、作業の効率化	最中の皮の仕分けや内職材料の補充等、自分で行うことはしてもらおうよう、再度職員間で対応を統一し、利用者様にもその旨お話しした。 来年度作業の準備・片付けは基本利用者様本人がされることが定着した。さらに効率を上げるために資材置き場の整備等を行う。																																
4) 椎茸収穫量の向上（管理の徹底、知識・技術の習得）	<p>*売上金額推移</p> <table border="1" data-bbox="805 1406 1433 1803"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>売上金額</th> <th>月</th> <th>売上金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>285,383円</td> <td>10月</td> <td>227,968円</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>277,897円</td> <td>11月</td> <td>273,048円</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>151,482円</td> <td>12月</td> <td>216,626円</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>206,011円</td> <td>1月</td> <td>228,181円</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>162,276円</td> <td>2月</td> <td>157,125円</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>180,939円</td> <td>3月</td> <td>216,760円</td> </tr> <tr> <td>売上計</td> <td>2,583,696円</td> <td>月平均</td> <td>215,308円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2年度売上計 2,492,975円、月平均 207,748円) 2年度より 90,721円/年、7,560円/月の増。</p> <p>*出荷重量 H31年1月～R元年12月=4,246kg R2年1～12月=3,880kg</p>	月	売上金額	月	売上金額	4月	285,383円	10月	227,968円	5月	277,897円	11月	273,048円	6月	151,482円	12月	216,626円	7月	206,011円	1月	228,181円	8月	162,276円	2月	157,125円	9月	180,939円	3月	216,760円	売上計	2,583,696円	月平均	215,308円
月	売上金額	月	売上金額																														
4月	285,383円	10月	227,968円																														
5月	277,897円	11月	273,048円																														
6月	151,482円	12月	216,626円																														
7月	206,011円	1月	228,181円																														
8月	162,276円	2月	157,125円																														
9月	180,939円	3月	216,760円																														
売上計	2,583,696円	月平均	215,308円																														

	<p>R3年1～12月=4,141kg 2年度と比較し261kgの増。 課題となっていた量の増加も達成。さらなる質の向上も図れ、中でもパック品の割合がかなり増えた。</p> <p>来年度収穫量、品質ともに向上したが、収穫時に傷がつき出荷できないものも増えているので、利用者様、職員ともに丁寧な作業を心掛け、ロスを減らしていく。パック品の選別落ちも多いため、規格確認を行う。</p>
--	--

3 コロナ禍でも満足度を維持する

計 画	遂 行 状 況
1) 県・市内感染状況を見て外出レクの再開を判断する	<p>感染者数は年末減少傾向となったが、新たな変異株「オミクロン株」が急拡大した。まん延防止解除後も感染者の減少が見られないため、外出レクは再開できなかった。</p> <p>来年度県内外の感染の減少が認められたら、外部の人との接触を極力減らした方法で外出レクを再開する。</p>
2) おたのしみ会の内容の充実(あおぞらの会 1回/月)	<p>会を毎月開催し、隔月で昼食、スイーツを提供した。スイーツの回ではゲームを実施した。</p> <p>来年度ゲーム以外の内容も企画し、飽きずに楽しんでいただける会を開催していく。</p>
3) 自分たちのニーズを語れる場の提供(にこにこの会 1回/週)	<p>その日のテーマを決めて利用者様にお話ししてもらったが、午後の休憩時間15分を利用しての開催のため、十分に語り合うまでには至らなかった。</p> <p>来年度来年度頻度を落とし、時間を長くしてグループトークを実施していく。</p>
4) 利用者様の満足度のモニタリング ①担当職員による定期的な面談(1回/3か月) ②第三者委員による聞き取り(1回以上/半年) ③利用者様満足度調査 本人によるアンケート記入、第三者委員による聞き取り(1回/半年)	<p>①定期的に面談を実施した。 ②第三者委員相談日を5/17(5人)、9/21(4人)、10/7(3人)、3/25に開催した。 ③上半期分アンケートを9月に、下半期分アンケートを3月に実施した。記入困難な利用者様は第三者委員が聞き取りを行った。</p> <p>来年度継続する</p>

<p>〔3年度数値目標〕</p> <p>① 1日平均利用者数=14人</p>	<p>実績=15.1人（前年度実績=15.7人）</p> <p>8月13.9人、9月13.8人と目標値を下回った（原因=入院、体調不良、他事業所併用による利用日数減少等）が、10月からは持ち直し目標達成できた。</p> <p>来年度目標値を下回ることがないように、現利用者様が安定して通所継続できるよう支援に当たっていく。</p>																																																						
<p>② 目標工賃=月 額 15,894円 時間額 342円</p>	<p>実績=月 額 16,345円 時間額 391円</p> <p>（前年度実績=月 額 14,995円 時間額 345円）</p> <p>今年度はコロナの影響はほぼなく、安定的に下請作業が確保できた。また椎茸も前年度より増収したため、月額、時間額ともに目標達成できた。</p> <table border="1" data-bbox="802 869 1449 1070"> <thead> <tr> <th colspan="2">*工賃推移</th> <th colspan="7">(単位:円)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>工賃総額</th> <th>工賃平均月額</th> <th>魚の屋合計</th> <th>魚の屋月平均</th> <th>椎茸合計</th> <th>椎茸月平均</th> <th>魚の屋割合</th> <th>椎茸割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>3,729,576</td> <td>16,612</td> <td>608,171</td> <td>67,575</td> <td>615,619</td> <td>153,905</td> <td>16%</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,096,511</td> <td>15,892</td> <td>2,071,696</td> <td>172,641</td> <td>825,645</td> <td>68,804</td> <td>51%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4,210,368</td> <td>14,995</td> <td>2,288,382</td> <td>190,699</td> <td>639,666</td> <td>53,306</td> <td>54%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,716,623</td> <td>16,345</td> <td>2,708,616</td> <td>225,718</td> <td>882,902</td> <td>73,575</td> <td>57%</td> <td>19%</td> </tr> </tbody> </table> <p>来年度目標達成に向けて努力する。</p>	*工賃推移		(単位:円)								工賃総額	工賃平均月額	魚の屋合計	魚の屋月平均	椎茸合計	椎茸月平均	魚の屋割合	椎茸割合	H30	3,729,576	16,612	608,171	67,575	615,619	153,905	16%	17%	R1	4,096,511	15,892	2,071,696	172,641	825,645	68,804	51%	20%	R2	4,210,368	14,995	2,288,382	190,699	639,666	53,306	54%	15%	R3	4,716,623	16,345	2,708,616	225,718	882,902	73,575	57%	19%
*工賃推移		(単位:円)																																																					
	工賃総額	工賃平均月額	魚の屋合計	魚の屋月平均	椎茸合計	椎茸月平均	魚の屋割合	椎茸割合																																															
H30	3,729,576	16,612	608,171	67,575	615,619	153,905	16%	17%																																															
R1	4,096,511	15,892	2,071,696	172,641	825,645	68,804	51%	20%																																															
R2	4,210,368	14,995	2,288,382	190,699	639,666	53,306	54%	15%																																															
R3	4,716,623	16,345	2,708,616	225,718	882,902	73,575	57%	19%																																															
<p>③ 椎茸事業=JA 出荷重量 4,000kg/年 売上金額 210,000円/月</p>	<p>実績=JA 出荷重量 4,141kg/年 売上金額 215,308円/月</p> <p>売上金額、出荷重量ともに目標達成できた。</p> <p>来年度さらなる出荷量、売上向上に向けて努力する。</p>																																																						
<p>④ 就労移行（一般企業または就労継続支援A型事業所）=1人</p>	<p>一般就労希望の利用者様1人に対し、関係機関と連携して就職に向けた支援を始めた。</p> <p>来年度就職実現に向けて支援する。</p>																																																						

(2) 職員がよりよい支援を提供できる職場づくり

1 共通理解を図り、全員で取り組む体制づくり

計 画	遂 行 状 況
<p>1) 利用者様の個別性に対応した支援計画の作成と職員間での共有（計画作成 1回/半年の他必要時、モニタリング 1回/3か月）</p>	<p>利用者数は変わらず多いが、個別性に細やかに対応した立案、支援が実施できた。</p> <p>来年度担当制の活用、担当職員とサビ管の協働の強化により、支援力の強化を図る。</p>

2) 職員の共通認識の形成（職員会議 1回／週）	日常的にこまめな情報共有を行うとともに、日々のミーティングや支援会議資料の回覧等を行い、共通認識の形成に努めた。 来年度職員の常勤化に伴い、より一層情報共有を図り、チーム形成を目指す。
3) 職員のニーズの把握（職員自己評価・定期面談 1回／半年）	日々職員の意見を聞くとともに定期面談によりニーズを把握し、体制の調整を行った。 来年度継続する。

2 人材の育成

計 画	遂 行 状 況
1) 就労支援職員としての職務を遂行できるよう指導を行う	新しい職員が適切に作業指導、利用者支援ができるよう指導を行った。 来年度職員の育成を図っていく。
2) 外部研修への積極的参加と職員間での学びの共有	10/7、20 令和 3 年度地域と医療の交流実習〔ぼんぼん船、デイケアひだまり〕（落合） コロナのため外部研修の開催が少なく、また参加も控えた。 来年度コロナの感染状況に応じ、オンラインでの参加も推進し、学びの機会を積極的に取り入れていく。
3) 職員のニーズに応えるテーマで内部研修を開催する（1回／半年）	〔上半期〕9/28 開催。5人参加。 テーマ：利用者の立場に立ったケア 講師：島根県介護福祉士会 山本克哉様 〔下半期〕3/28 開催。5人参加。 テーマ：虐待防止 講師：合同会社描喜 畑岡直喜様 来年度虐待防止委員会の設置により、年1回は虐待防止、もう1回は職員のニーズに応えるテーマで開催していく。

3 出産・育児に柔軟に対応できる人員配置・制度運用

計 画	遂 行 状 況
1) 出産・育児に関わる各種制度の活用推進	槇原主任：出産 R3.2.22 育児休業 R3.4/20～R4.2/21 落合パート：出産 R3.3.15 産休のみ R3.5.12 復帰 厚労省「両立支援等助成金」育児休業等支援コー

	<p>ス 育休取得時（36万円）8/19支給決定、入金済み。</p> <p>来年度 育児短時間勤務等の制度を実施していく。</p>
<p>2) 職員の意見を吸い上げ、体制のモニタリング、見直しを行う（管理職会議 1回/月）</p>	<p>人員配置等体制の望ましいあり方について、職員の意見を聞きながら検討を行った。</p> <p>来年度 継続する。</p>

令和3年度事業報告

2021年4月1日 ～ 2022年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

3年度は前年度までの経験を生かし、障がい者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。コロナ禍においても安全かつ充実して働ける事業所、また職員がよりよい支援を提供できる職場を目指した。その結果、感染者の発生もなく、多くの利用者様に安定的に通所していただくことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	19人	利用者27人 延べ3738人	22782
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	10人	利用者27人 延べ3738人	5845
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	地域イベントはコロナにより中止	ワークケアみずうみ	19人	利用者27人 延べ3738人	257 ※1
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、回収業者への引き渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者27人 延べ3738人	333

※1 「ノーマライゼーションの普及活動」事業では、例年、地域イベント出店による収益及び職員の作業工賃を利用者様のボーナスとして支給しているが、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域イベントが中止となったため、職員の作業工賃のみの支出となった。